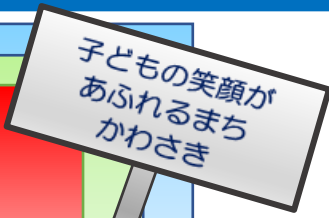


令和7年度かわさき教師塾

☆『明日の先生日記』☆



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市



『明日、子どもたちの笑顔の前に立っている私』をイメージする学び

2月14日(土) 日常の教育相談の視点、教師の話し言葉の大切さ、学校安全の意義等に関する講義、教師塾での学びを振り返り、なりたい教師像とそのための取組に関する交流が行われました。

令和8年2月14日(土) 日程

10:05 今、教員に求められること

11:00 「正しい発声と伝える力」

12:00 ~昼食・休憩~

13:05 危機管理

14:05 振り返り グループ交流 アンケート

14:45 閉講式 事務連絡 15:00 終了



学校は、
・子どもを預かる
= 子どもの命を預かる場所
・子どもたちが
自分で生き抜く力をつける場所
子どもたちにとって
安全・安心な場であるために
危機管理の意識を高める

【受講した内容についての感想】



〇何かの時に「相談できる教師」になるため日頃から子どもの言葉に耳を傾け、感謝の言葉や肯定的な言葉掛けを意識し、子どもとの関係性を大切にしたい。

〇「相手の関心に関心を向けること」という新たな視点をいただき、そのことが愛情であることを学びました。また、子どもに上手に支援できるか不安でしたが、支援をつなぐことも教育相談という言葉は心の救いになりました。

〇発声の講義では、同じ言葉や内容でも、話し手の表情や声のトーンや抑揚、速度などで受ける印象が大きく異なることを感じた。子どもに様々なことを伝える教師は、内容や状況に応じた話し方をする必要があったと考えました。

〇実際のアナウンサーの講師のお話を聞いて、説明がとても分かりやすく、心が惹きつけられるような雰囲気でした。これからの生活で少し意識しながら正しい話し方を身に付けられるよう練習したい気持ちが強くなりました。

〇「学校は子どもが育ち、巣立っていくところ 命を失うことがあってはならない」という言葉が心に響いた。子どもがいる所にいるよう心掛け、危険を見逃さない重要性を学んだ。



【1年間の教師塾を振り返って】

◇「どう子どものことを考えるのか」という「考え方」を知れたことが教師塾の中でとても大きいです。今は教師になった時にどんな姿になっていたいか、そのために今どんなことを学んでどんな準備が必要かなど前よりも明確な目標をもつことができました。

◇川崎市の教師を目指す人、実際に教育現場に立っている人が集まっているため、周囲からとても良い刺激を受けました。「そんな意見もあるのか」と、自分とは違う**新たな考え方を見つけ出し**たり、**考えの幅を広げたりする良い機会**になりました。

◇教師塾を通して「一人ひとりを見ること」の意味が少し分かった気がしています。一人一人を見ることは、一人一人の良さや可能性を伸ばすこと、そのために教員は子どもの隣で一緒に進んでいくことが大切ではないかと思いました。

◇川崎市の教員になりたいという気持ちが高くなっただけでなく、もっといろんなことを学びたいと思えるようになった。毎回のお話が面白く興味深い講義ばかりだったので1つの間に行くのが楽しみになっていた。

◇子どもは一人ひとり、そのらしい魅力や可能性をもっているのだと感じた。常に子どもたちのことを知ろうとする姿勢を大切にし、**子どもたちの可能性を信じることを決して辞めない**ようにしたい。

◇「**大人が幸せにいてください**」という言葉が印象に残っています。自分が今幸せなのかと考えた時、はっきり「はい」と言える先生になって、子どもたちが安心して声を掛けられる教員になりたい。

◇毎回の教師塾の帰り道では、友人とここはこう感じたとか、あの話が特に響いたとか、**熱く語りながら**帰っていました。語りたくなくなるくらい毎回の講義が盛りだくさんでタメになることが沢山学べて、ハッとする瞬間があって、とても貴重な経験になりました。

◇「**子ども中心**」をキーワードに学びを進めていき、子どもと一人の人間として関わり**伴走者となりながら**可能性を引き出すことのできる教師になりたいという気持ちに辿り着くことができました。

◇**子どもの些細な変化を見逃さない**ことを常に意識したいです。日々の行動や発言の小さな違和感を「偶然」で済ませないで、背景にあるサインを察知し、相談しやすい雰囲気作りや温かい挨拶・声掛けを大切にしたい。

◇信頼関係を作るためには、否定的な言葉を使わない、子どもの声に耳を傾け寄り添う気持ちを忘れない、一人ひとりの子どもの変化や行動に目を向け、**あなたのことを見ているよと思ってもらえるように**するなど、具体的にどうすべきか分かるようになりました。

◇子どもも教師も笑顔でいられる「**余裕**」を大切にしながら、「安全に」「安心できる」授業づくりをしていきたい。教師として一人の人間として人格と技術を磨き続けたい。愛情をもって子どもたちと向き合いたい。そんな思いが学びを通して膨らみ続けています。

◇グループワークで、その子の困り感だけではなく、できている面や個性に着目したまとめ方をしていたのが素敵だなと思いました。研修で学んだ**見方を変える**ということだと思いました。見えていない部分とともにその子全体を見て支援を考えられる教員になりたい。



大きな「希望」と小さな「出会い」から生まれた教師塾での仲間。緩やかな緊張感の中で感じた仲間との心地良いつながり。交流を深める中で、自分と重なるような夢や多様な視点から浮かんだ温かな数々の教室の風景。この思いがけない体験は、きっと子どもたちの笑顔を想う明日へと導いてくれるはず。全6日間の教師塾、ひた向きに受講してくれ、とても嬉しく思いました。「明日、子どもたちの笑顔の前に立っている私」…皆さんと一緒に川崎の子どもたちの成長と笑顔に携われる「明日」を心待ちにしています。